

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報
平成29年度第1四半期（平成29年4月～6月）

1. 治安情勢

- 4月20日、マハラシュトラ州タネ市ムンバラ居住の男が、ムンバイにおいて大規模テロを行うことを画策し、テログループを形成するためリクルート活動などを行っていたとして逮捕された。
- 4月24日、チャッティスガル州スークマ地区において、治安部隊がナクサライトの襲撃に遭い、治安部隊25名が殺害される事案が発生した。同地区では3月にも12名の治安部隊員が殺害される事案が起きている。
- マディヤ・プラディッシュ州において農場経営者らが6月1日から反政府活動（借金の帳消しと適正な農産物価格の設定を要求）を実施し、6月4日にはセホールにおいて警察との衝突が発生して6名の警察官が負傷、5日は農場経営者らがインドールからダブルチョウキまでを車両デモを実施、6日はマンドサウルにおいて警察側がデモ隊に発砲して5人が死亡するなどして大規模な騒乱に発展した。
- 6月23日、タネ市カルヤン地区において軍が施設の建設作業を開始しようとしたことに対し、農民が自分たちの土地の権利を侵害しているとして大規模な抗議を行い、対応した警察官12名を含む28名が負傷、6台の車両に放火される事案が発生した。

2. 邦人に係る一般犯罪情勢

殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

- ア 殺人
邦人被害の事件は認知していない。
- イ 強盗
邦人被害の事件は認知していない。
- ウ 強姦
邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

良好である。

6 犯罪統計

ムンバイ市警察本部は、2016年1月1日から7月2日までに認知した犯罪件数について統計を発表した。主な犯罪の認知件数は以下のとおり。

○ 殺人	70件	(前年同時期対比	-12件)
○ 強盗	412件	(同	+294件)
○ 傷害	2,376件	(同	-274件)
○ 恐喝	150件	(同	-73件)
○ 強姦	342件	(同	-39件)
○ 窃盗	3,239件	(同	-568件)

○ チェーン・

スナッチング(※) 88件(同 189件)

(※) 女性が首等に身につけている貴金属をひったくる犯罪

犯罪発生状況は、強盗の件数が増加している他は、ほぼ横ばいの状況である。

邦人が被害に遭った事案については、昨年単独の邦人旅行者を狙った睡眠薬強盗被害が相次いで発生した。手口はいずれも親しげに近づいてきて打ち解けたところで睡眠薬入りの飲食物を勧められて昏睡したところを金品を窃取するというものであったことから、不用意に誘いに乗らず、飲食物等進められても毅然と断る姿勢が必要である。

また旅行者が多いエリアにおいてはスリ被害も発生していることから、人の多いエリアでは携帯品の管理に十分注意する必要がある。